

IAY日本語教師養成講座 修了生の声!

本間先生(IAY勤務中)

第44期修了生です!

Q1 日本語教師になろうと思ったきっかけは?

仕事を辞めた時に、自分の好きなことを学びたいが、さて何をしようかと考えました。旅行が好きで色々な国を旅して、海外の方々には本当に親切にもらったので、今度は日本を訪れる外国人に日本のことを伝え、恩返しのようなことがしたいと思ったのがきっかけです。

Q2 IAYではどのようなクラスを担当していますか?

非常勤講師として、主に短期で日本を訪れ日本語を学ぶ生徒を指導しています。新しい出会いが多く、色々な国のことを知る機会も多いです。

Q3 日本語教師はどんな仕事ですか?

とてもやりがいのある仕事です。特に、日本語を全く話せなかった生徒が、会話は勿論、自分の感情までも日本語で伝えられるようになり、その上達を目の当たりにした時は幸せな仕事に就いたと実感できます。

また、日本の文化や習慣に改めて気づかされることも多く、それを生徒に伝えることにより更に日本に興味をもち、日本でもっと学びたいと言ってもらえた時は本当にやりがいを感じます。

Q4 IAYの養成講座で学んだことはどんなところで役立っていますか?

教授法や実習で学んだことが、初めてクラスを担当した際のカリキュラム作成や、実際に授業をする上で、大変役立ちました。初めての授業の前には、実習の時に先生やクラスメイトが書いてくれたアドバイスを読み直したのを覚えています。

また、他の教科についても、養成講座の授業で取っていたノートがとても役に立ち、私にとっては大切な指導の手引きとなっています。

Q5 これから日本語教師を目指す方にメッセージをお願いします!

日本語教師は意欲があれば誰でもチャレンジできます。私が一歩踏み出したのは、60歳を目前にした頃でした。日本語教師養成講座の授業は、実習の準備や試験に追われ、決して楽な毎日ではありませんが、一緒に学ぶクラスメイトと熱心に指導して下さる先生方が支えてくれます。ここでは、日本語指導法だけにとどまらない、価値のあるスキルを身に付けることができると思います。

修了後は、海外で働く人、日本を訪れる外国人に指導する人、ボランティアなど様々ですが、どの路へ進んでも、自分の個性や経験を活かした人間性のある教師を目指してほしいです。

